

<b>A 9 9</b> <b>初級～</b> (実習あり)	<h2 style="margin: 0;">特許拒絶理由通知対応の基本</h2> <p style="margin: 0;">～特許の拒絶理由通知への的確な対応～</p>
講師	弁理士 久恒京範 (創光国際特許事務所、元 コニカミノルタ(株))
日程・場所	東京本会場
	2022年1月14日(金)
時間	1日間(10:00～16:00) // 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	<a href="https://www.jpds.co.jp/company/access.html">https://www.jpds.co.jp/company/access.html</a>
定員	東京本会場：24名(先着順申し込み)
受講料	本会場：20,000円(税込：22,000円)
対象	知的財産部門の特許担当者、特許出願経験のある技術者
<b>内 容</b>	
<p>良い発明を特許出願しても、特許庁からの拒絶理由通知への対応を誤ると特許権の取得ができなかったり取得できたとしても企業活動で有効活用できなかったり、対応いかんでは特許の価値は大きく変わってしまいます。</p> <p>本セミナーでは、特許実務経験豊富な講師が、拒絶理由通知別の複数事例を交えた的確な対応方法を詳しく解説します。さらに、実際に補正書・意見書を作成する演習を通して基本的な対応の考え方を理解し実務力を身に着けます。</p>	
<b>プログラム</b>	
1. 特許庁の審査と拒絶理由通知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特許制度の概要</li> <li>・ 特許庁の審査と拒絶理由通知</li> <li>・ 拒絶理由通知の概要</li> <li>・ 拒絶理由通知書の見方</li> </ul>	4. 演習(拒絶理由通知対応) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例の説明</li> <li>・ 補正書・意見書の作成</li> <li>・ 発表</li> <li>・ 解説</li> </ul>
2. 拒絶理由通知への対応(新規性・進歩性) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規性違反への対応</li> <li>・ 進歩性違反への対応</li> </ul>	5. まとめ
3. 拒絶理由通知への対応(記載不備) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明確性違反</li> <li>・ サポート要件違反</li> </ul>	

## 【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

## 【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

## 【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。ただし、TV会場での聴講の場合には継続研修の認定対象外となります。